

## NO. 1 床固工における応急工事の実施

NO. 1 床固工前提部分に落差が生じたことにより、シロザケの遡上に支障をきたしていたため、落差解消に向けた改良工事を実施した。

### 1 施工期間

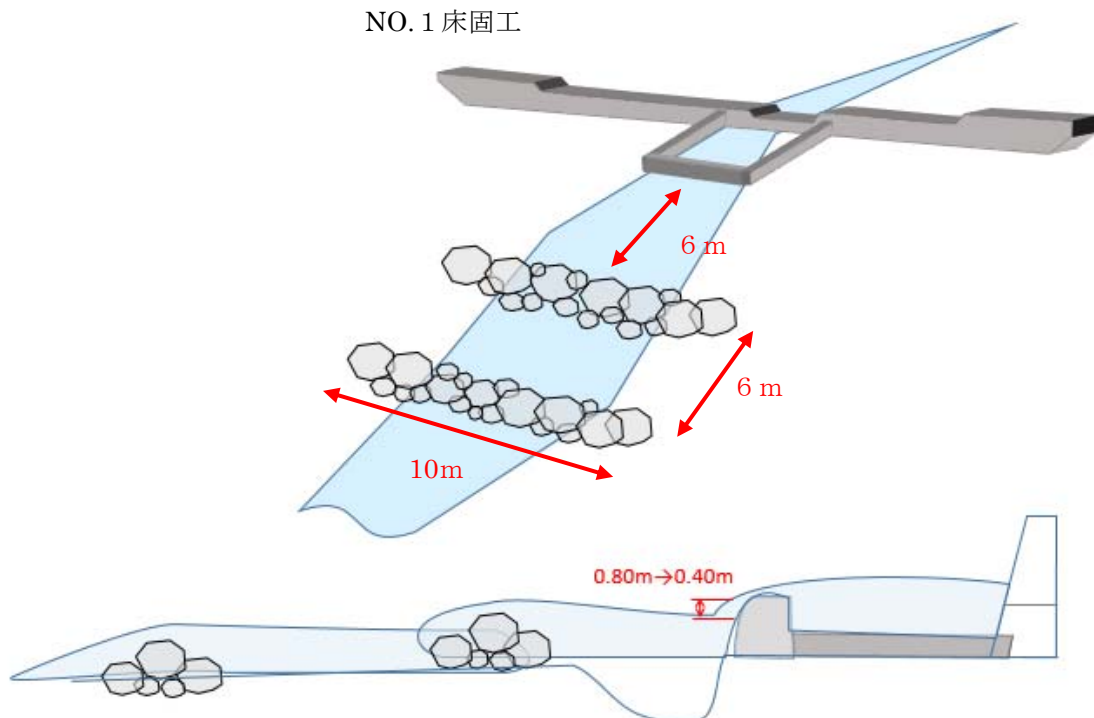
平成28年10月24日～平成28年10月27日 4日間

### 2 工事の内容

前提下流部に石で減勢工を2列設置し、嵩上げ効果で水位を上げて落差を軽減した。使用材料の石材は、現地の石を利用。

施工前の落差は80cm程度あったが、改良後には38cmになり、シロザケの遡上が可能な高さまで改善。

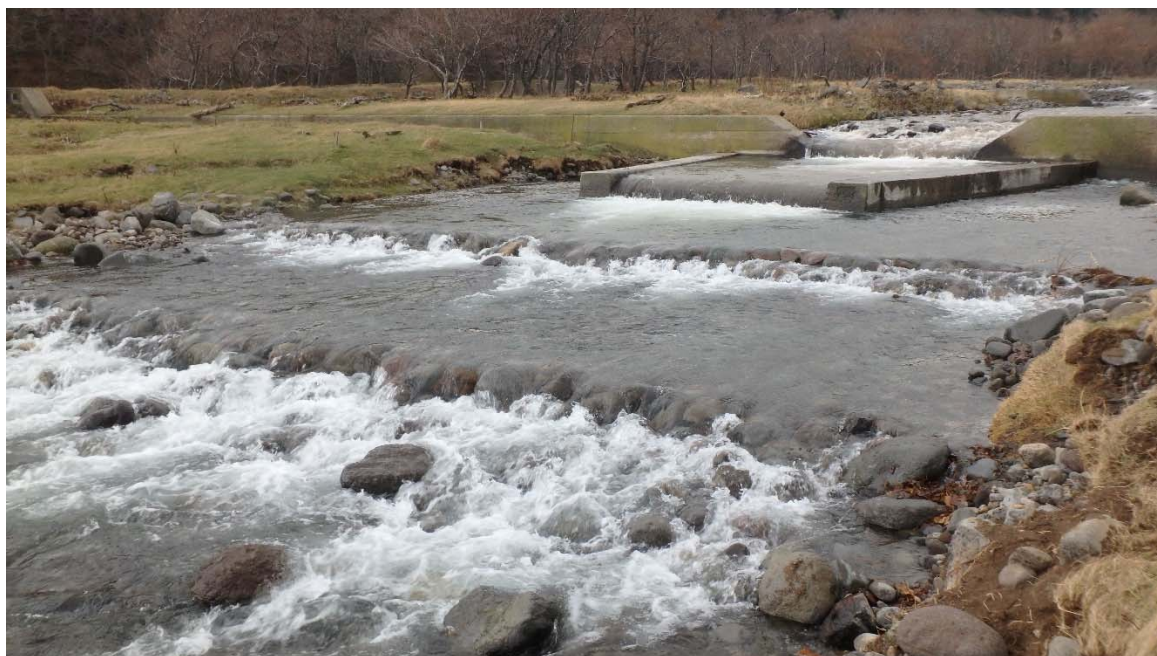
### 改良工事の施工イメージ図



工事着手前



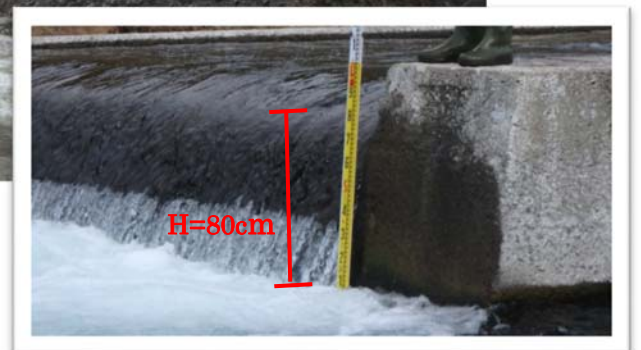
工事完了後



## 減勢工（石積）完成後の状況



## 前提との落差の改善状況



## 減勢工（石積）の施工状況



石積 1 段目  
H=0.50m



石積 2 段目  
H=0.50m

## シロザケの遡上状況調査の実施

- 場 所：ルシャ川河口部から上流部約 2,300m 地点までの区間
- 日 時：平成 28 年 11 月 16 日 11:30～15:30
- 方 法：目視にてシロザケの個体数と産卵床数を計数  
目視困難な深い部分は、箱眼鏡にて水中観察で計数
- 調査者：「公益財団法人 知床財団」 野別氏、新庄氏
- 結果等
  - ・ 調査範囲においてシロザケ 10 個体と産卵床 2 を確認。
  - ・ 確認したシロザケと産卵床は、第 1 ダムプール下流側で 8 個体と産卵床 1、その上流側で 2 個体と産卵床 1。
  - ・ 第 1 ダムよりも上流側で確認したシロザケと産卵床は、全て第 1～2 ダム間であり、第 2 ダム上流側では確認はなし。